

2020 年度第 10 回執行理事会議事録

日程：2021 年 3 月 15 日（月）13:00～17:45【WEB 会議】

出席者：磯崎会長・平田・佐々木・中澤・緒方（14-15 時，16 時以降）・辻森・星・坂口・小宮・大藤・狩野・高嶋

欠席：岡田・亀高・矢部・松田・ウォリス

事務局 澤木

*定足数（過半数：9）に対し，12 名の出席

*前回議事録（20-9 回）の確定。

報告事項

1. 全体的報告

- ・ 「学協会における研究公正に関する取組と現状」調査依頼があり，回答した（国立研究開発法人日本医療研究開発機構平成 31 年度研究公正高度化モデル開発支援事業助成課題「研究公正の推進に資する質問紙調査の活用に関する研究」，開発代表者：大阪大学准教授 中村征樹）。
- ・ 地質学雑誌電子化の方針・検討状況について執行理事会名で周知・広報を開始した（3/2geo-flash）（学会運営タスクフォース：中澤）
- ・ 若手会員に対して意向動向調査のためのアンケートを実施中。344 通送信-43 通不達 = 301 件依頼。実施期間：2/25-3/31。（坂口）

2. 運営財政部会（緒方・亀高）

1) 総務委員会

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

- ・ 三重県総合博物館第 28 回企画展「やっぱり石が好き！三重の岩石鉱物」（会期：4/24-8/29）への後援名義使用依頼があり承諾した。
- ・ 令和 3 年度消防防災科学技術賞募集（消防防災科学論文ほか）（4/22 締切）【→ニュース誌 3 月号，geo-flash 掲載】
- ・ 令和 2 年度東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成受賞者決定通知あり，地質および会員関係者の受賞なし。令和 3 年度の推薦募集は 6 月中旬開始予定。

<会員>

(1) 今月の入会者(4 名)

正（院割）会員（3 名）：栗山湧生・伊左治良輔・木村陽介

正（学部生割）会員（1 名）中山瀬那

(2) 今月の退会者（2 名）

正会員（2 名）：大西由梨・諸野祐樹

(3) 今月の逝去者(1 名)

正会員（1 名）：岡田賢樹（逝去日 2021 年 1 月 22 日）

(4) 2021 年 2 月末会員数

賛助：27，名誉：41，正会員：3364 [うち正：3275，院割：86，学部割：3]

合計 3432 (昨年比-169)

(5) 2021 年度 50 年会員顕彰者 (43 名)

赤井静夫・荒井章司・石井正之・永広昌之・大槻憲四郎・大場孝信・岡 孝雄・岡村 眞・奥田義久・金井克明・北里 洋・木戸道男・君波和雄・楠田 隆・小早川 隆・小宮山 梓・笹田政克・佐藤和志・佐藤隆春・佐藤隆英・柴田 徹・菅谷正美・高橋 明・高橋治郎・高安克己・武島正幸・立石雅昭・徳山英一・中井 均・中野聰志・仲谷英夫・新井田清信・二階堂章信・萩原 茂・橋本修一・濱塚 博・平林憲次・別所孝範・方違重治・安野敏勝・安松貞夫・山本尊仁・和田信彦

<会計>

- ・ 決算予想および 2021 年度予算案 (→審議事項へ)

<その他>

- ・ 会員管理のクラウド化：タスクフォース会議での方針に沿いクラウドシステム契約書案を検討中。契約し 3 月末からクラウドシステムへの移行準備を始める予定。
- ・ 事務局賃貸の契約 (井桁金網 (株)) を更新予定 (2021/4/1~2023/3/31)。 賃料変更なし，更新料 251,300 円 (税抜)

3. 広報部会 (坂口・小宮)

1) 広報委員会 (坂口)

- ・ 第 12 回フォトコンテスト審査を WEB 上での作業中。3/16 終了予定。
- ・ 代替企画のキャリアビジョン誌 (PDF) をホームページ上で公開した。
- ・ 学会 SNS 対応 (→審議事項へ)

4. 学術研究部会 (辻森・ウォリス・星)

1) 行事委員会 (星)

- ・ 次回のショートコースの内容について検討状況が紹介された。「津波堆積物」をテーマに 5 月中旬開催予定。
- ・ 2021 年学術大会 (名古屋)
 - ① トピックセッションの募集を締切った (3/10 締切)。新規申し込みはなく，昨年中止となった 7 件のセッションを改めて採択した。
 - ② 地質情報展は，当初 9/24-26 開催を計画していたが，会場である名古屋市科学館の都合により開催時期を 10 月初旬に遅らせる。市民講演会は変更なし (9/5 開催，於名古屋大学)。
 - ③ 学術大会 (名古屋大会) オンライン開催の収支 (→審議事項へ)
 - ④ 学術大会 (名古屋大会) でのオンラインシンポジウム開催提案 (→審議事項へ)

2) 専門部会連絡委員会 (辻森)

- ・ 部会規則整備と年次活動を各部会に依頼中。4 月理事会で報告予定。(未回答 1 部会：層序)
- ・ 環境地質部会楡井 久部会長急逝に伴い，田村嘉之新部会長が就任 (任期は 21 年 9 月名古屋大会まで) することとなった。また，環境地質部会と地質環境の長期安定性研究委員会 (委員長 吉田英一) との合流を協議中との報告があった。専門部会および研究委員会から提案があがり次第審議する。

3) 国際交流委員会 (ウォリス)
IGC 韓国大会についての進捗を確認する.

4) 地質標準化委員会 (辻森)
特になし

5. 編集出版部会 (大藤・狩野)

1) 地質学雑誌編集委員会 (大藤)

(1) 編集状況報告 (3月10日現在)

- ・ 2021年投稿論文: 3 [内訳] 論説2 (和文2), 口絵1 (英文1)
査読中: 26 受理済み: 19 (うち特集号11 案内書2)
- ・ 127巻3月号: 特集号「富山トラフと周辺部の堆積作用と後背テクトニクス (その2)」論説3, 通常号 レター1 (62頁 校正中)
- ・ JSTが運用する論文関連データの公開システム (J-STAGE Data) への移行や, J-STAGEでの論文の全文XML公開などの検討を開始した. 近日JSTとの意見交換会を開催予定.

2) アイランドアーク編集委員会 (狩野)

(1) 編集状況報告

(2) その他

出版状況とIFの今後の見込みの報告に加え, 最近の投稿者像, ダウンロード読者像などの解析結果が報告された.

2) 企画出版委員会 (小宮)

- ・ ゆめ基金助成事業「ボクたちの“足もと”から地球のことを知ろう (WEB教材)」の普及・利用状況報告書 (3年目) を国立青少年教育振興機構へ提出予定 (提出期日4/10). 今年度はコロナ禍の影響で普及活動は実施されず, 一部教材広報用パンフレットの配布のみに留まった.

6. 社会貢献部会 (松田・矢部・高嶋)

1) 地学教育委員会 (高嶋)

- ・ 大学入試センターへ地学関連科目の問題作成および得点調整に関わる意見書 (2/22付) に提出した.

2) 地質技術者教育委員会 (佐々木)

①3/7 (日) JABEE オンラインシンポジウムを開催.

- ・ Zoom申込111名 (講演者などを含む), 当日Zoom視聴67名, YouTube34名の計101名が視聴. Youtubeに3時間半の録画を掲載中. Youtube総視聴回数241回 (3/11, 14時現在)
- ・ 大学, 企業, 学生と異なる立場からJABEEとCPDについて講演.
- ・ 討議も多く, 盛況であった.
- ・ 地質学会としてJABEEやCPDの広報を大学や企業さらには高校にまで広める必要があるとの意見があった.
- ・ 事前申込111名の状況は以下のとおり.
会員39%, 非会員61%
大学18%, 企業69%, 官公庁・学協会6%, その他6%
CPD単位認定証必要67%, 不要33%

②JABEE 審査

- ・5月からWEBによる実地審査

③JABEE 地球・資源分野運営体制

- ・3/31の分野運営委員会で議論する予定.

④CPD

- ・ジオスクーリングネット協議会会合は3/16WEB開催予定

⑤委員会のHP刷新

- ・3月中に刷新予定

3) 生涯教育委員会 (矢部)

- ・文科省より令和3年度(第62回)科学技術週間および周辺でのイベント実施とその情報提供の依頼があったので、学会HPの情報を提供した.

4) 地震火山地質こどもサマースクール (松田)

- ・2/20(土)サマスク3学会連企画委員会開催(松田出席). 地質学会から2020年度の20万円振込を確認した. 決算は3月締めのため, 4月以降に報告して頂く.
- ・2020年から2021年に延期となった浅間山サマスクは, 1泊2日で東海大宿舎を会場に開催を検討しているが, 今後の新型コロナの感染状況を鑑みて判断する.
- ・再来年度(2022年)の開催地応募者はなかった. 今後, 募集のやり方を変更し, 年度を特定しない方法にする.(開催する意思がある組織, 団体を募集し, 実際に実施する時期は調整した上で決定する)
- ・次回の会議は, 3/27(土)の予定.

5) 地質の日 (矢部 代理松田)

- ・「地質の日オンライン一般講演会」を5/9に開催する. 演者は岡田誠氏(茨城大学教授)「地質年代チバニアンと房総の地質」および氏家恒太郎氏(筑波大学准教授)「断層の地質学的研究から読み解くプレート沈み込み帯地震発生の科学」. 学会HP, ジオフラッシュおよびチラシでの広報も開始した. 全国科学系博物館協会, 全国地質調査業協会連合会等への広報協力依頼を行った.
- ・「地質の日」実行委員会事務局で今年の広報用ポスター(添付資料)を制作した. 3月中旬をめどに各機関に配布の予定.
- ・「地質の日」街中ジオ散歩について, 2/23(火)に関係者によるオンライン会議を行い, 今年の行事実施について議論した. 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ, 5月の実施は延期とし, 9月ないし10月での実施を検討する. 6月中に再度会議を開き, 実施の可否を判断する.
- ・過去のジオ散歩の内容等についてアーカイブの整備を進めることとする. 6月の会議までに各回の担当がそれぞれ資料の制作を進める.

7. その他執行理事会の下に設置される委員会

- 1) 利益相反マネージメント委員会(中澤)報告なし.

特になし

8. 理事会の下に設置される委員会

- 1) ジオパーク支援委員会(委員長天野:代理平田)

特になし

2) 地学オリンピック支援委員会（高嶋）

- ・ 例年同様地学オリンピック本選参加者への学会 PR ツール（クリアファイル等 40 セット）を提供した。今年は本選後参加者に郵送される。

3) 支部長連絡会議（平田）

4) 地質災害委員会（松田）

- ・ 令和 3 年 2 月福島県沖の地震に関する災害情報（リンク）を学会 HP に適宜掲載した。
- ・ 防災学術連携体臨時総会および法人設立準備会臨時総会（2/26：Zoom 開催）があり，中澤常務が出席した。法人設立にあたり改めて正会員の入会手続きを行った（年会費 3 万円）。
- ・ 「東日本大震災から 10 年」の会長談話を発表（2 月号ニュース誌，HP 掲載）

5) 名誉会員推薦委員会（佐々木）

- ・ 候補者推薦が 2 月 10 日に締め切られ，3 名の推薦があった。委員会によるメール審議，投票により，3 名を名誉会員候補として，4 月の理事会，6 月の総会に諮る予定

6) 各賞選考委員会（中澤）

- ・ 選考作業中（zoom で実施）。

7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会（委員長 堀 利栄；代理 中澤）

- ・ 日本地質学会賛助共同参画の歩み 2020ver をとりまとめ，学会 HP に掲載した。この 30 年間の日本地質学会の男女共同参画の状況の解析結果が報告され，今後の更なる取組の必要性が確認された。
- ・ 2021 年度活動計画として，学術大会セッションでの EDI ロゴマークの付与，ワークショップ開催，男女共同参画学協会連絡会へのオブザーバー参加を予定している。

8) 法務委員会（委員長 松田博貴；代理 中澤）

- ・ 行動規範の改定案を会長へ答申した。（→審議事項へ）

9) 連携事業委員会（中澤）

特になし

9. 研究委員会

1) 地質環境長期安定性研究委員会（委員長 吉田英一）

特になし

2) 南極地質研究委員会（委員長 小山内康人）

特になし

I 審議事項

1. 行動規範の改訂案

法務委員会から答申された改定案を審議し，「倫理綱領」の求める行動を地質学会に適合した形で明確にする答申案を了承した。

2. 地質学会の SNS 対応提案（坂口）

会員を中心とする関係者を対象に，迅速な連絡網として geo-Flash のオプションとしての位置付けで公式 SNS の利用を開始するという提案を了承した。準備が整い次第 Face Book と Twitter を開始

する。

3. 2020 年度決算案・2021 年度予算案

コロナ禍の影響によりイレギュラーな対応が多かった 2020 年度の各事業に関する収支について、丁寧に確認した。中期的な会員動向を含めた今後の予算見通しも踏まえた上で、2021 年度予算案を審議した。提案された 2020 年度決算案および 2021 年度予算案を了承し、理事会に諮ることとした。

4. 2021 年学術大会関係（星）

・学術大会（名古屋大会）オンライン開催の収支予想等について

オンライン開催の場合の詳細な収支計画が提案された。これに加えて、従来以上に参加者を増やし、大会を盛り上げるための方策が議論された。追加の提案を含めて行事委員会で検討し、執行理事会メールで議論の上で理事会に諮ることとした。

・学術大会（名古屋大会）でのオンラインシンポジウム開催提案について

地球科学系学会の将来像について関係学協会でも討議することが提案された。まずは関係者で意見交換を行って、情報共有と課題の抽出から始める方向で進めることとした。

5. 地質学雑誌電子化について（学会運営タスクフォース：中澤）

具体的なスケジュールと手順が提案された。新しい会員サービスにおける地質学雑誌の位置付けと完全電子化のあり方を議論し、具体的な課題と対応策を取りまとめて理事会に諮ることとした。

6. 4 月理事会審議事項

審議事項として下記を確認した。

- ① 2020 年度事業実施概要
- ② 2021 年度事業計画
- ③ 2020 年度決算概算
- ④ 2021 年度予算案
- ⑤ 行動規範の改定
- ⑥ 表彰制度見直しに係る学会運営規則及び各賞選考規則、各賞選考委員会規則の改定
- ⑦ 各種専門部会規則の承認
- ⑧ 名誉会員候補者の選出について
- ⑨ 各賞受賞者の決定
- ⑩ 総会議案の決定
- ⑪ 名古屋大会開催方法について
- ⑫ 地質学雑誌の電子化について
- ⑬ その他

7. その他

「県の石」の出版に関して

編集が停滞している状況を確認した。辻森理事がコンテンツの整備をリードして早期の刊行を目指すこととした。

以上

2021年4月3日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会長（代表理事）磯崎行雄

署名人 執行理事 中澤 努